

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことで、児島湖の水質保全に役立っています。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの回収作業を行うとともに、刈り取ったヨシをリサイクルすることで有効に活用しました。

また、県内の児童・生徒を対象に、ヨシの刈取りや、工作を通してリサイクルを体験する機会を設けました。

2 平成 30 年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

①ヨシの刈取り

区 域	面積 (m ²)	重量 (kg)
灘崎北七区	30,590	27,800
笹ヶ瀬橋付近	0	0
八浜・水鳥親水公園	900	1,200
合 計	31,490	29,000

②ごみの回収

分 類	可燃物	ガラスくず	空き缶等	廃プラスチック類	廃材	合計
数量 (kg)	360	70	50	50	930	1,460

<ヨシの刈取り>



<ごみの回収>



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシは、果樹農園等でマルチング材*や堆肥として活用しました。

また、刈り取ったヨシの一部を用いてヨシ箸を作成し、環境イベントで配付することで、来場者にヨシの水質保全効果などの理解を深め、児島湖の水質保全への関心を高めました。

※マルチング材・・・土表面に敷き詰め、土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材

再生利用の用途	ヨシの使用量 (kg)
マルチング材	16,000
千両ナス栽培 (堆肥等)	12,000
ヨシ箸	1,000
合 計	29,000

<マルチング材として再利用>



<児島湖ヨシを使用したヨシ箸>



(3) ヨシの刈取り体験・工作体験

児島湖に親んでもらうとともに、廃棄物のリサイクルなど環境保全に関する関心を高めるために、高校生及び小学生を対象にしたヨシの刈取り体験や、小学生を対象にしたヨシを利用した工作体験を実施しました。

① ヨシ刈り体験

玉野市立大崎小学校3年生20名及び岡山市立七区小学校4年生24名並びに岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生40名が、ヨシの刈取りを体験しました。

また、ヨシを刈り取った場所に散乱していたごみを回収しました。

〈ヨシ刈り体験〉



〈ごみの回収〉



②工作体験

県内の4小学校で、児島湖の環境保全やヨシの水質保全に係る役割などを学習してもらうとともに、刈り取ったヨシを利用したヨシ笛や額縁などの工作に取り組んでもらいました。

学校名	学 年	参加児童	工作物
岡山市立七区小学校	4年生	24名	額縁、ブーブー笛、パンパイプ など
玉野市立大崎小学校	3年生	20名	
玉野市立八浜小学校	4年生	28名	
真庭市立川東小学校	4年生	16名	

〈ヨシの工作を行う大崎小学校の児童〉



〈ヨシを使った額縁〉



【担当部署】 環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班